

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会				
事務局 (担当課)	中央高齢者相談課・障害政策課				
開催日時	平成29年10月12日(木) 14時00分～16時12分				
開催場所	ウェルネスさがみはらA館3階 集団指導室				
出席者	委員	19人(別紙のとおり)			
	その他	15人(市関係課職員)			
	事務局	7人(中央高齢者相談課長・障害政策課長、他5人)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	議題6(3)相模原市における虐待事例については、個人情報特定される恐れがあるため公開不可とした。				
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 会長あいさつ 4 委員紹介(自己紹介) 5 相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワークの概要について 6 議題 (1) 相模原市の虐待防止に関する取り組みについて (2) 平成28年度高齢者・障害者の虐待発生状況について (3) 相模原市における虐待事例について (4) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局等の発言)

1 開 会

2 委嘱状交付

- ・委員に交代のあったNo1 関田委員、No6 水上委員、No7 天願委員、No17 佐久間委員、No19 小川委員及びNo20 酒寄委員に対し、委嘱状の交付を行った。

3 会長あいさつ

陳会長の退任により会長が不在となっていたが、相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会設置要綱第5条の規定により、委員の互選において水上委員が会長に選出され、あいさつを行った。

4 委員紹介(自己紹介)

- ・会長、副会長に続き名簿番号1番から順次自己紹介を行った。

5 相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会の概要について【資料1】

- ・資料に基づき事務局から説明を行った。
- ・質疑等はなし。

6 議題

(1) 相模原市の虐待防止に関する取り組みについて【資料2-1、2、3】

- ・【資料2-1】の養護者による高齢者虐待防止について、中央高齢者相談課から説明を行った。
- ・【資料2-2】の養介護施設従事者による高齢者虐待防止について、高齢政策課から説明を行った。
- ・【資料2-3】の障害者虐待防止について、障害政策課から説明を行った。

* 上記3件の説明に対し、質疑等はなし。

(2) 平成28年度高齢者・障害者虐待の発生状況について【資料3-1、2】

- ・【資料3-1】の養護者による虐待発生状況及び【資料3-3】高齢者の虐待の推移について、中央高齢者相談課から説明を行った。
- ・【資料3-2】の養介護施設従事者による虐待発生状況について、高齢政策課から説明を行った。
- ・障害者虐待の発生状況について【資料3-2】、障害政策課から説明を行った。

今の説明の中で、経済的虐待というのはどういう事例があるか教えてもらいたい。

経済的虐待の考え方として、養護者が勝手に高齢者の預貯金等の資産を本人の同意なく使ったり、本人の利益に反し、勝手に使ったりしてしまうような場合を経済的虐待として対応している。

例えば、高齢者が施設に入所しており、施設利用料を養護者が管理し支払いをしていたが、本人の年金を養護者が勝手に他の目的で使用してしまい、本人の施設使用料の支払いが滞った事例がある。

また、在宅の例では、親の介護をしている同居の子が親の金銭を勝手に使ったことにより、親が介護保険サービスを使えなくなり、市に相談があったような事例も経済的虐待として対応している。

養介護施設従事者による虐待について、昨年、一昨年と1件だった発生が今年は6件と突出しているが、津久井やまゆり園の事件を受けて、社会的弱者への虐待に対して注意が払われているという要因もあるかと思うが、他の要因があれば教えてもらいたい。

また、通報のあった施設の種別の数字は出ているが、6件の虐待認定の施設の種別が分かれば教えてもらいたい。

件数が増えていることについては、なかなか判断が難しいところもあるが、要因として考えられるのは、平成27年度に川崎市の有料老人ホームで立続けに3件の転落事故があり、各施設の中で虐待に係る研修がかなり充実されてきたということがあり、今まで当たり前のように行っていた行為が、実は身体拘束に当たるのではないかと。

例えば、夜間徘徊をする入所者がいて、その人の許可を得ない形で入り口のドアを紐で縛っていたという例があり、研修を受けている中で「許可を受けていない身体拘束は虐待に当たるのではないかと」と自分たちでそのことに気づき、改善をした上で市の方に報告を上げてきたという事例が含まれている。

また、内訳として、サービスの面で有料老人ホームが3箇所、認知症グループホームが1箇所、デイサービスが1箇所、訪問介護が1箇所という内訳になっている。

高齢者虐待の中に要介護状況の割合があるが、障害者の方には区分があったが、要介護状況の中で介護1から介護3に相当する方が虐待を受けているケースが多いとの報告があった。

実際には、これからこういった高齢者の方が増えてくるかと思うので、要介護1以上というところの方がおそらく認知症の診断が付いているか、または疾病としては病状不安定という状況かと思うが、何か介護1から3の割合が高い事例について、例えば障害者であれば知的だとか、色々な要因がある中で認知症の方が多い、若しくは統合失調症などの精神疾患が多いとか、それとも寝たきりの方が多いとかいった分類評価はしているか。

色々な疾病が原因というのはあるが、特に認知症の方が多いので、認知症の方については統計を取っている。資料のうち75名の養護者の虐待の中で認知症の方が32名で、42.7パーセントという状況であった。

認知症の程度であるが、認知症には自立度が1から5まで付いていて、その中で自立度2の方が14名ということで、一番多くなっている。次に自立度3の方が6名という形になっている状況である。それ以外の精神的な状況等について統計は取っていない。

高齢者の方を訪問診療で千人以上診てきた中で、実は介護を提供する側と受ける側のいわゆる虐待だけではなく、施設の訪問診療を見ていると、入居者同士の中で認知症のない方が、認知症のある方を部屋に呼び込むといった事例が極まれに見受けられる。特にこういった事例は男性女性の関係が多いが、今回の事例の報告を見ると性的虐待は1件だけだが、実際にはそういった事例等が隠れている可能性があるので、相談したい事例がある場合はよろしくお願ひしたい。

(3) 相模原市における虐待事例について【資料4】

- ・【資料4 - 1】養護者による高齢者虐待について中央高齢者相談課から説明を行った。
 - ・【資料4 - 2】養介護施設従事者による高齢者虐待について、高齢政策課から説明を行った。
 - ・【資料4 - 3】障害者虐待について、障害政策課から説明を行った。
- <非公開>

(4) その他

- ・委員からはその他意見はなし。
- ・事務局から本年4月1日から開始した「相模原市高齢者あんしん相談ネットワーク」事業について説明を行った。

閉 会

以 上

相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	関田 勝利	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
2	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会		欠席
3	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		欠席
4	大石 真弥	相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
5	田辺 庄一	相模原市社会福祉協議会		出席
6	水上 潤哉	相模原市医師会	会 長	出席
7	天願 千夏	さがみはら介護支援専門員の会		出席
8	左右田 哲	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
9	上地 光恵	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
10	小林 立	相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
11	倉橋 英理子	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
12	高橋 誠司	相模原市社会福祉事業団		欠席
13	中島 博幸	相模原市障害福祉事業所協会		出席
14	鈴木 敏彦	相模原市障害者施策推進協議会		欠席
15	岸 茂子	相模原市障害者自立支援協議会		欠席
16	二瓶 紀章	神奈川労働局 雇用環境・均等部		出席
17	佐久間 大輔	相模原警察署 生活安全第一課 課長		出席
18	辻村 文孝	相模原南警察署 生活安全課 課長		出席
19	小川 健司	相模原北警察署 生活安全課 課長		出席
20	酒寄 正明	津久井警察署 生活安全課 課長		出席
21	宮内 知子	相模原人権擁護委員協議会		出席
22	水谷 里枝子	横浜弁護士会相模原支部	副会長	出席
23	中村 誠治	横浜地方法務局相模原支局		出席
24	内田 雅美	相模原市健康福祉局保険高齢部長		出席